

# 令和4年度一般会計予算1,152億円余の状況

## 歳入の特徴

「一般財源全体で前年度比40億3千万円の増」区税収入は458億9千万円余で、区民税の増などにより、前年度比では2.3%、10億4千万円余の増額で、当初予算としては過去最高額の区税収入見込みとなっています。都区財政調整に基づく特別区交付金は、堅調な企業収益の伸びを背景として、財源である法人住民税等が増収となる見込みであること等により、21.5%、29億円の増となっています。財政調整基金の繰り入れの影響を除いた一般財源全体では、40億3千万円余の増となっています。特定財源では、国庫支出金は15.9%、26億5千万円余の増、都支出金は9.6%、9億9千万円余の増となっています。特別区債は、特別養護老人ホーム中目黒の大規模改修及び児童館・学童保育クラブの整備などにより、6億8千万円余の増となっています。

## 歳出は

健康福祉費は618億8千万円余で、前年度比で19億8千万円余増加し、予算総額の53.7%を占めています。うち、健康衛生費は、感染症対策業務委託など、コロナ対策経費を充実したことなどにより、4億6千万円余の増、児童福祉費は放課後子ども総合プランなどの子育て支援の充実で7億円余の増となっています。既定経費は、私立保育所運営経費の増などで、前年度比5.0%、41億6千万円余の増となっています。新規及びレベルアップ経費は、開設初年度分の私立保育所運営経費の減などにより51.0%、7億9千万円余の減となっています。臨時経費は、自由が丘駅周辺地区整備の増などにより、19.7%、45億4千万円余の増となっています。

**視点：平成4年度の予算の収入の状況はとても良い数値が出ている。しかし、私の活動範囲の中では、このコロナ禍の2年、景気のいい話を聞いたことがないのが実情だ！おそらく、ほとんどの区民の方々は同じではないでしょうか？！しかし実態としては区税収入は過去最高である。一方、今後学校の建て替えや区民センターの大規模な改修工事など2,000億円近くの事業費がかかり、基金（貯金）では当然賸えない状況から起債（借金）をしながらの財政運営を強いられます。今後、今以上慎重に財政収支の状況を見ながらの区政運営になってくる事から単年度の数値が良いからといって決して安心できる状況にはないと考えています。**



## 予算総括質疑では予算編成手法と人道的支援、職員の規範意識について総括的に質問しました。

- ① 予算編成手法EBPMエビデンス・ベースド・ポリシー・メイキング、証拠に基づく政策立案)について柔軟性を持って緊急時の対応もできるような余裕度を持つことを質疑しました。
- ② ロシアによるウクライナ軍事侵攻で隣国ポーランド共和国は避難民受け入れを始め人道的支援を最大限行なっている、目黒区に大使館があり普段より親交を深めている事からポーランド大使館を通じ人道的支援を展開するべきではないかと質疑しました。
- ③ 目黒区職員の規範意識、特にきちんとした挨拶からコミュニケーションや職場の雰囲気醸成される事から質疑しました。

### ◆各会計予算規模前年度比較

単位:千円

会計区分	令和4年度	令和3年度	増減額	増減率
一般会計	115,247,948	107,334,764	7,913,184	7.4%
特別会計	55,648,894	53,232,877	2,416,017	4.5%
国民健康保険特別会計	26,222,123	25,249,345	972,778	3.9%
後期高齢者医療特別会計	7,337,112	6,811,198	525,914	7.7%
介護保険特別会計	22,089,659	21,172,334	917,325	4.3%
合計	170,896,842	160,567,641	10,329,201	6.4%

